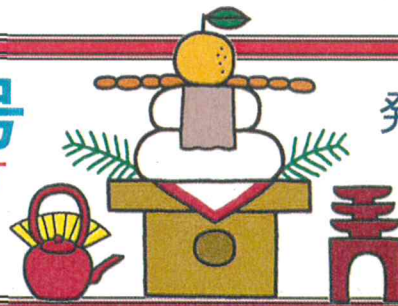


公民館だより1月号

新年特別増ページでお届けします

大詫間の人口(令和3年11月末現在)
1,485人 男 726人 女 759人 537世帯



発行/大詫間公民館

〒840-2211
佐賀市川副町大字大詫間 560 番地 1
電話・FAX 0952-45-4480
Email koodakuma@city.saga.lg.jp

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。

大詫間の皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと存じます。

旧年中は、公民館活動や行事等に格別のご支援、ご協力を賜り、心よりお礼申しあげます。

さて、昨年も新型コロナの影響により、事業を中止、縮小せざるを得ない状況になりましたが、皆様の支えにより子どもから大人まで地域が一体となった事業を実施することができました。こうした活動の展開により、地域力の高まりを確かな手ごたえとして感じております。

本年も公民館が地域活動の拠点となり、人と人がつながり、支え合いの心が生まれる大詫間を目指して取り組んで参りますので、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

皆様にとって、本年が素晴らしい1年になりますよう祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

大詫間公民館 職員一同



1月の成人学級 介護保険と要介護認定について

「ある日突然、家族に介護が必要になったら？」
「介護保険ってどうやって利用するの？」
「まずはどこに相談すればいいの？」
そんな疑問にわかりやすくお答えする講座です。
「自分には関係ない」と思わず、知って安心につなげませんか？



開催日 1月20日(木)
時間 10:00~11:30
場所 大詫間公民館 大会議室
講師 佐賀中部広域連合
定員 15名程度
申込先 大詫間公民館(45-4480)
申込無しでも参加できます



1月予定表



※予定は変更・中止する場合があります

日	月	火	水	木	金	土
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">おしらせ</div> 公民館のイルミネーションは、年末年始も休まず点灯します。 点灯時間は17時頃から22時まで。期間は1月10日までの予定です。 とってもきれいなので、ぜひ見に来てくださいね						1 【元日】 【休館日】
2 【休館日】	3 【休館日】	4 にこにこ運動教室	5	6	7 健康麻雀 囲碁・将棋	8 ブーカス号 15:10~16:00
9	10 【成人の日】 元気アップ教室	11 にこにこ運動教室 夢の島P邸外 ブーカス号 14:00~14:50	12 GB 愛好会 まち協本部役員会 ももの会 つばき会	13 ときわ会	14 七夕会 健康麻雀 囲碁・将棋 自治会長会	15
16 【休館日】	17 GG 役員会 三星クラブ 元気アップ教室	18 にこにこ運動教室 健康福祉部会	19 GG 愛好会 ゆりの会	20 成人学級	21 健康麻雀 囲碁・将棋	22 大詫間食改協
23 華の会	24 元気アップ教室	25 にこにこ運動教室	26 つばき会	27	28 健康麻雀 囲碁・将棋	29
30	31 元気アップ教室					

公民館・地域の出来事 報告コーナー

みどりあふれる まちづくり

12月9日 公民館主催
いきいき楽しもう会第9回

佐賀市緑化推進課から「みどりあふれるまちづくり」について、お話を頂きました。

佐賀市ではみどりの基本計画が策定されており、「未来につながる推進体制づくり」として、地域の花植えボランティアを支援されており、現在224団体の皆さんが地域で活躍されているそうです。

こうした取り組みが佐賀市全域に広がり、大詫間もみどりあふれる地域になればと思います。



寄せ植え教室

12月23日 公民館主催
成人学級第8回

今回は年末年始の寄せ植えということで、葉牡丹やシクラメンなどお正月の雰囲気のある植物がたくさん用意されていました。講師の中川達也先生にアドバイスをいただきながら参加者の皆さんは他の方と意見を交わし試行錯誤しながらそれぞれの鉢を完成させていました。

また、ミニ門松も作成し、出来上がった寄せ植えに合わせるとさらにお正月らしい華やかな鉢になりました。



ふくろうの置物づくり

11月25日 公民館主催
ものづくり講座

地域サークル「さつき会」で活動されている、7区の山田さんと10区の山口さんを講師にお招きし、縁起が良いといわれるフクロウの置物作りに挑戦しました。

フクロウは「福が来る」や「不苦労」などを願った縁起物です。参加者は出来上がった作品を見比べながら、「同じ形でも色や綿の入れ方で違ってくるね」と楽しそうに話していました。



イルミネーション点灯式

12月6日
まち協・公民館

2年目の開催です。17時30分にイルミネーションの一齐点灯を行い、たくさんの方にご来場いただきました。

当日の午後から地域の方に集まっていただき取付作業を行いました。皆さんはテキパキと次々に飾りつけを行って下さいました。カウントダウン後に一齐に光が灯ると、会場に子ども達の大きな歓声が響きました。まち協から温かい飲み物のふるまいがあり大好評でした。



ふれあい

健康グランドゴルフ大会

12月12日
健康福祉部会主催

晴天の中、子どもから高齢の方まで約100名の参加者が16チームを組んでグランドゴルフを楽しみました。初めての方もベテランの方も仲良く一緒に競技し、楽しい地域交流の場となりました。最後は成績優秀者の発表があり、会場は大いに盛り上がっていました。また、子どもチームも賞をもらって大喜びしていました。



ふれあいもちつき交流会

12月4日
社協主催

当日は朝早くからもち米を蒸し、大人と子どもが一緒になって楽しく交流しながらもちつきをしました。つきあがったお餅は校区内のお一人暮らしの高齢者のお宅を訪問してお渡ししました。つきたてのお餅は皆さんに喜んでいただけたことでしょうか。子ども達の喜ぶ声が響く楽しい行事となりました。お米を提供して下さいましたJA様、ありがとうございました。



公民館・地域の出来事 報告コーナー

発見！体験！ 有田の旅

11月21日
まち協・公民館共催

まち協子ども部会主催による小学生を対象とした日帰りバス研修「発見！体験！有田の旅」を開催しました。

有田焼工房で焼き物の絵付けや、太良町でのみかん狩りを体験し、大魚神社の海中鳥居を見学しました。

佐賀を知り、学び、そして地域の大人と子どもが楽しく交流できた充実した研修となりました。



大詫間ハロウィン

10月31日
まち協・公民館共催

総勢130人の仮装行列が大詫間のまちを練り歩きました。大詫間にはこんなに子どもがいたのか！とびっくりする位にぎやかな行列になりました。行列は子どもだけでなく、まち協や自治会長の方や保護者さんも仮装し、一緒に楽しみました。大人も子どもも一体となって大盛り上がりした一日となりました。



小学生の発表を公民館に掲示しています

11月7日の大小フェスタで、5・6年生の児童が「未来の大詫間を考える」をテーマにグループワークの成果を発表しました。その資料を公民館に展示しています。ぜひご覧ください。



しめ縄飾りをいただきました

4区北の松枝様より、公民館の玄関に飾るお正月用のしめ縄を作っていただきました。とても立派なしめ縄で、立派にお正月を迎えることができます。ありがとうございました！



新春特別企画？ 主事コラム

私の野望



宮田 朋美

4月から大詫間公民館に勤務して早いもので8カ月が経ちました。最初はクリークに飛び込む亀の水音に驚いておりましたが、今では耳に心地よいBGMです。

私は大詫間に来て海苔がこんなに美味しいものなのかと初めて知りました。最近は炙った海苔を肴にキリリと冷えた日本酒「鍋島」を飲むのが休日前の楽しみとなっています。こんなに酒が進んで健康的に大丈夫かな？という心配が一瞬頭をよぎりますが、原料は米なのでおにぎり🍙を食べているのと同じだと自分を甘やかしています。大小フェスタで5・6年生の児童が「大詫間の美味しい特産物を使ったカフェを開きたい」と発表したのも頷けます。

この「カフェ」はぜひ地域の事業として開催したい。それが私の今の野望です。そして大詫間の素晴らしさを地域の皆さんと一緒にアピールしたい。カフェの名前も考えました。パリの有名カフェ「AUX BACCHANALES(オーバカナル)」をヒントに「AUX D'ACCORD MER」(オーダクマ(メー))。仏語で D'accord の意味は「肯定、賛成」で mer の意味は「海」。ダジャレのようですが海に囲まれ、明るく大らかな雰囲気の大詫間になかなかぴったりだと思いませんか？

私の稽古(趣味)



古藤 栄子

私はパッチワーク教室に通っています。元々、裁縫が好きで高校卒業後、夜間の和裁教室へ約5年間通っていました。和裁3級まで取得しましたが趣味の一環に過ぎません。また、和裁教室がないときは洋裁教室に通って、自分の洋服はほとんど手作りでした。今のようにサイズが沢山なくて困っていたからです。

独身時代の稽古が身について、今のパッチワーク教室に通い続けられているのかもしれない。約20年間通っていますがなんにでも奥深いものがあり、手作りとなると同じ材料、形でも全然違うものになるからです。

教室では約5年毎に全員参加の発表会を行っています。その中でも一番の思い出は東京ドームで開催されている「東京国際キルトフェスティバル ー布と針と糸祭典ー」に教室全員で大きなタペストリーを作り上げて出展したことでした。

現在は孫の保育園バック・エプロン・キャラクターのキーホルダーなどを手作りして楽しんでいます。

私の稽古が大詫間校区の方たちに役立つことがあればと思っています。これからもよろしくお願いいたします。



～大詫間への想い 思い出等について～

地域の方から大詫間への想いや
小さい頃の思い出などをお寄せ
いただく『私と大詫間』
シリーズです。

大詫間との関わり

私は戦後生まれの団塊世代で、子どもの頃はワンパク・ガキ大将でした。

家庭の事情で県外就職をあきらめ、公務員を志望し運よく県庁職員として採用され、総務、商工、環境・農林水産、土木等幅広い業務を担当する中で、一度だけ大詫間に直接関わる仕事をしました。

地区民待望だった県道「川副大橋」建設事業は、昭和46・47年に用地買収が出来ず予算が流れましたが、県は52年に再度予算を確保し、地元出身の私（30歳頃）に用地買収業務を命じたのです。

上司から「2回予算を流すともう橋は出来ないぞ」と言われ、真に受けた私は、中津地区と大詫間地区を役場職員の協力を得ながら目の色を変えて奔走しました。

地権者の代替え地要求に応えるため、当時、県営圃場整備の換地作業がほぼ終わっていましたが、換地委員さん、区長さん、地元町議員さん方に「県道と言うより、大詫間の橋です。協力してください。」と必死に呼びかけた結果、全面的協力を得て、用地買収と家屋移転交渉を短期間で解決することが出来ました。その後着工、昭和58年12月に川副大橋は、開通しました。

今でも当時奔走したことや協力頂いた人達を思い出すと、感慨深いものがあります。

退職後は、平成21年より土地改良区の理事長を任されていますが、農業生産及び社会基盤であり防災機能を持つ水路・農道・ポンプ場等の再整備の必要性を役職員一丸となって再三国・県・市へ要望活動を続けた結果、目に見える形で整備が進んできました。このように地元と関わることが出来て良かったと思っています。

地区内には、まだ大雨対策や集落環境改善、地域活性化等の諸課題がありますので、今後とも関係団体と連携しながら行政庁にお願いするとともに、各種補助制度を活用して、より良い郷土づくりに関わっていかれたらと思っています。



第13回目は…
馬場 正幸さん
(5区)

館長コラム

以前この欄で歯科恐怖症であることを告白しました。

どうにもこうにもならなくなって、何十年かぶりに勇気を出してたたいた歯科医院の門、約1年間通院してやっと治療が終わりました。

今は3か月ごとに定期検診に通っていますが、怖い治療と違って、クリーニングは超気持ちいいし、口の中がスッキリします。

あれほど怖かった歯医者さんへのイメージがころりと変わって、我ながらいい気なもんです。ただ、親からもらった歯はいくつも失っていて、偉そうなことは言えません。また人間に生まれ変わることができたら、歯は大事にしたいと思います。

さて、今年の干支は寅、不思議なことに十二支の漢字は普段書く動物の漢字と違います。これは、十二支は元々、年や時刻などを表すものとして使われていた漢字を一般の人にも普及させるために動物をあてたと云われています。干支の性格や相性の占い・診断がありますが、そもそも、干支ごとに性格・特徴があるなら、同い年の人はみんな同じ性格ということにもなりますが、それでも、身近な人にあてはめると当たらずとも遠からずというところでしょうか。

ちなみに、過去寅年に大詫間で起きた出来事をみると、372年前の1650年（慶安3年）は、台風で大きな被害があったとありました。132年前の1890年（明治23年）は、デレーケ導流堤（ちんしょう）が完成、大詫間尋常小学校が開校、108年前の1914年（大正3年）は、大正天皇の即位を祝し堤防に1000本の柿の木が植えられたとあります。そして48年前の1974年（昭和49年）には、山口家住宅が国の重要文化財に指定、大詫間公民館竣工とありました。今年はどうな寅年になるのでしょうか。

令和4年が大詫間にとって平穏で笑顔溢れる幸せな1年になりますように。

あと今年こそ宝くじがあたりますように。

